



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 モリタホールディングス
 コード番号 6455 URL <http://www.morita119.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理サービス本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中島 正博
 (氏名) 金岡 真一
 配当支払開始予定日

TEL 06-6756-0105
 平成23年12月1日

上場取引所 東 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,362	7.1	547	161.8	621	96.0	262	
23年3月期第2四半期	21,926	7.2	209		317		31	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 89百万円 (%) 23年3月期第2四半期 131百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.88	
23年3月期第2四半期	0.70	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	68,063		33,289			47.1
23年3月期	71,765		33,429			44.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 32,087百万円 23年3月期 32,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		5.00		5.00	10.00
24年3月期		5.00			
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	0.4	4,000	7.8	4,200	9.0	2,200	1.4	49.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	46,918,542 株	23年3月期	46,918,542 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	2,308,875 株	23年3月期	2,302,973 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	44,612,982 株	23年3月期2Q	44,636,391 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によって停滞していた生産活動も徐々に回復しつつありますが、米国及び欧州の財政不安による円高・株安等先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は20,362百万円(前年同四半期比1,564百万円減、7.1%減)となりました。一方、利益面におきましては、防災事業及び自転車事業の業績が堅調に推移したことにより、営業利益は547百万円(前年同四半期比338百万円増、161.8%増)、経常利益は621百万円(前年同四半期比304百万円増、96.0%増)、四半期純利益は262百万円(前年同四半期は31百万円の損失)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①消防車輻

消防車輻事業は、前年同四半期は補正予算関連の売上が寄与しておりました結果、売上高は6,697百万円(前年同四半期比29.0%減)となりました。

②防災

防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の好調な販売に加え、消火器の法令改正に伴う需要の増加もあり、売上高は7,120百万円(前年同四半期比20.2%増)となりました。

③産業機械

産業機械事業は、東日本大震災に係るがれき処理に伴う需要の増加もあり、売上高は1,780百万円(前年同四半期比44.7%増)となりました。

④環境車輻

環境車輻事業は、東日本大震災による自動車メーカーからのシャシー供給遅延に伴う生産への影響もあり、売上高は3,295百万円(前年同四半期比17.5%減)となりました。

⑤自転車

自転車事業は、高付加価値商品の拡販に注力し、売上高は1,469百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輻事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に偏る傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は68,063百万円(前連結会計年度末比3,702百万円の減少)となりました。

流動資産は、31,086百万円となり3,823百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少1,589百万円、受取手形及び売掛金の減少7,549百万円の一方で、たな卸資産の増加4,930百万円によるものです。

固定資産は、36,977百万円となり121百万円増加しました。うち有形固定資産は、29,368百万円となり163百万円増加し、無形固定資産は、1,705百万円となり304百万円減少し、投資その他の資産は、5,903百万円となり262百万円増加しました。

流動負債は、17,245百万円となり3,606百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少2,387百万円、未払法人税等の減少1,076百万円によるものです。

固定負債は、17,527百万円となり43百万円増加しました。

純資産は、33,289百万円となり139百万円減少しました。これは主に、四半期純利益の計上による増加262百万円、剰余金の配当による減少223百万円、その他有価証券評価差額金の減少57百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.9%から47.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,601百万円減少の4,771百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、440百万円の支出(前年同四半期は1,010百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益606百万円の計上、売上債権の減少額8,021百万円の方で、たな卸資産の増加額4,928百万円、仕入債務の減少額2,445百万円、法人税等の支払額1,595百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,082百万円の支出(前年同四半期は138百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出783百万円、貸付けによる支出306百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、79百万円の支出(前年同四半期は569百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額222百万円の方で、長期借入れによる収入255百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表しました業績予想から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,433	4,843
受取手形及び売掛金	19,212	11,662
商品及び製品	1,753	2,167
仕掛品	3,209	6,982
原材料及び貯蔵品	2,690	3,433
その他	1,679	2,040
貸倒引当金	△68	△44
流動資産合計	34,909	31,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,842	6,660
機械装置及び運搬具(純額)	1,349	1,358
土地	20,525	20,889
建設仮勘定	147	156
その他(純額)	341	303
有形固定資産合計	29,205	29,368
無形固定資産	2,009	1,705
投資その他の資産		
その他	5,702	5,964
貸倒引当金	△61	△60
投資その他の資産合計	5,640	5,903
固定資産合計	36,855	36,977
資産合計	71,765	68,063

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,995	10,608
1年内返済予定の長期借入金	2,012	2,002
未払法人税等	1,525	449
賞与引当金	821	786
役員賞与引当金	110	50
製品保証引当金	278	276
災害損失引当金	30	24
その他	3,077	3,049
流動負債合計	20,852	17,245
固定負債		
長期借入金	10,556	10,723
退職給付引当金	1,691	1,742
役員退職慰労引当金	207	149
その他	5,028	4,911
固定負債合計	17,483	17,527
負債合計	38,335	34,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	3,743	3,743
利益剰余金	26,627	26,666
自己株式	△1,036	△1,038
株主資本合計	34,080	34,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△195	△253
繰延ヘッジ損益	△100	△19
土地再評価差額金	△1,428	△1,428
為替換算調整勘定	△121	△328
その他の包括利益累計額合計	△1,845	△2,029
少数株主持分	1,194	1,202
純資産合計	33,429	33,289
負債純資産合計	71,765	68,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,926	20,362
売上原価	16,650	14,717
売上総利益	5,276	5,645
販売費及び一般管理費	5,067	5,097
営業利益	209	547
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	46	44
受取賃貸料	50	49
持分法による投資利益	40	34
その他	124	97
営業外収益合計	266	233
営業外費用		
支払利息	117	117
賃貸費用	10	23
その他	29	17
営業外費用合計	157	158
経常利益	317	621
特別利益		
固定資産売却益	4	0
貸倒引当金戻入額	54	—
関係会社株式売却益	26	—
特別利益合計	84	0
特別損失		
固定資産除売却損	15	1
投資有価証券評価損	462	—
災害による損失	—	13
その他	31	—
特別損失合計	509	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△108	606
法人税等	△70	335
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37	271
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31	262

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△37	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△58
繰延ヘッジ損益	△22	80
為替換算調整勘定	△25	△203
その他の包括利益合計	△93	△182
四半期包括利益	△131	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124	78
少数株主に係る四半期包括利益	△7	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△108	606
減価償却費	641	586
のれん償却額	5	50
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55	△25
受取利息及び受取配当金	△51	△52
支払利息	117	117
持分法による投資損益(△は益)	△40	△34
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	0
投資有価証券評価損益(△は益)	462	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△26	—
売上債権の増減額(△は増加)	9,506	8,021
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,149	△4,928
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,683	△2,445
その他	△974	△680
小計	2,656	1,217
利息及び配当金の受取額	57	53
利息の支払額	△116	△116
法人税等の支払額	△1,587	△1,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	△440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△207	△783
有形固定資産の売却による収入	323	37
無形固定資産の取得による支出	△54	△21
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
関係会社株式の売却による収入	150	—
貸付けによる支出	△6	△306
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△66	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	138	△1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,235	—
長期借入れによる収入	3,000	255
長期借入金の返済による支出	△100	△100
自己株式の取得による支出	△5	△2
配当金の支払額	△223	△222
少数株主への配当金の支払額	△3	△4
その他	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569	△79
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	579	△1,601
現金及び現金同等物の期首残高	4,976	6,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,556	4,771

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	消防車輛	防災	産業機械	環境車輛	自転車	
売上高						
外部顧客への売上高	9,434	5,923	1,229	3,992	1,346	21,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	196	105	1	224	—	527
計	9,630	6,029	1,231	4,216	1,346	22,454
セグメント利益又は損失(△)	484	△39	△117	99	△191	234

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	234
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	△25
四半期連結損益計算書の営業利益	209

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	消防車輛	防災	産業機械	環境車輛	自転車	
売上高						
外部顧客への売上高	6,697	7,120	1,780	3,295	1,469	20,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	167	193	0	139	—	500
計	6,865	7,313	1,780	3,434	1,469	20,863
セグメント利益又は損失(△)	104	408	△24	△12	71	548

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	548
セグメント間取引消去	3
棚卸資産の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	547

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	6,836	△24.3
防災	3,007	+9.8
産業機械	1,784	+45.0
環境車輛	3,342	△18.1
自転車	144	△7.3
合計	15,114	△12.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	23,559	+8.4	22,842	+8.4
防災	3,004	+82.3	1,665	+95.0
産業機械	3,592	+129.9	4,114	+83.1
環境車輛	3,876	△8.2	1,774	+37.8
合計	34,033	+16.7	30,397	+19.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 防災事業の防災機器部門及び自転車事業は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

3 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	6,697	△29.0
防災	7,120	+20.2
産業機械	1,780	+44.7
環境車輛	3,295	△17.5
自転車	1,469	+9.1
合計	20,362	△7.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。